



## 大災害時 隅田川を活用 白鬚西【3・8丁目】荒川遊園等役割大

マグニチュード7クラス、震度6強の首都直下型地震が今後30年以内に発生する確率が70%にのぼると中央防災会議は発表しています。隅田川には白鬚西【3・8丁目】東尾久、荒川遊園の3カ所に船着場が設置されています。白鬚西【3・8丁目】は都立汐入公園の南端部と区立瑞光橋公園が接するあたりの川辺



災害時に活躍する瑞光橋公園

にありを「瑞光棧橋」と呼んでいます。長さ24m、幅4.5mの大きさです。大地震の際には、食料品や医薬品など救援物資のほか、復旧活動に必要な大量の機械や資材も、この船着場から荷揚げします。また、地震の際の帰宅困難者や人工透析のために病院に通う患者さんなどを船で移送することも可能です。川底の深さから、東京水辺ラインの長さ30m、幅7mの水上バスは接岸できます。荒川区は過去の総合震災訓練の際、船舶による救援物資の搬送訓練及び、帰宅困難者が船で移動する訓練として 地元町会の約30人が瑞光棧橋から乗船し、荒川遊園の船着場で降りる 尾久町会の約30人が荒川遊園から乗り、瑞光橋棧橋で降りるといった訓練も実施しました。

裏面有り

## 寒中お見舞い申し上げます

# 汐入町会 信号機 12 か所目設置 3月に2基(隅田川沿い)稼働予定 交通事故0の願いを込めて

現在、汐入地区の周囲を通る桜堤通りは、日光街道と明治通りを繋ぐ路線。あるいは堀切方面からの進入車両の影響で1日2万台近くの車輛が通行する道路になりました。特に朝の通行帯の通行量の影響で保育園前の歩道を渡るのも一苦勞のようです。又、夜間は暗く見通しが悪いため2年ほど前に自動車と自転車との接触により死亡事故も起きてしまいました。この度、南千住警察の働きかけにより2カ所に信号機が設置されることになりました。2月には工事が終了し3月頃から稼働するとの事です。これにより自動車の速度も制限され、交通事故も減少するのではないのでしょうか。汐入8丁目はこれで、12基の信号機が設置され、従来よりも「安全・安心」の町として評価も高くなることを期待します。



## 複合施設愛称名投票締切り迫る 21日

投票場所 汐入図書ステーション・南千住図書館・駅前区民事務所・ふれあい館  
締め切りー1月21日〔水〕 次の中から1人1点 **あらかわ言の葉館** **ゆいの森**  
**荒川にこっと** **あらかわパレット** **Ara-topia (あらとぴあ)**

# 大相撲の土俵作りを支えた 町屋【1・8丁目】荒木田ヶ原の土

大相撲初場所が始まり熱戦が繰り広げられていますが、残念なのは日本人の横綱がないことです。一日も早く日本人横綱が出現し、白鵬との間で好取組をしてほしいと願うのは私だけでしょうか。ところで、大相撲につきものの「土俵」。この土俵ができたのは江戸時代の始め頃のように。巨漢力士同士のぶつかり合いから怪我を守るためには、粘土質で粒子の細かい土が求められていて、その条件に、最も適していたのが荒川区町屋に広がる「荒木田ヶ原」の土でした。戦後、町屋地区も急速な市街化に晒されその役割が終わり、現在は利根川流域の春日部方面からの土を使用しているようです。土俵は1週間ぐらい前から呼び出しなど45人位の方が3日かけて手作業で作ります。4トン車2台分の量を使います。大相撲の歴史には荒川区産の土が必要だったというのは何とも嬉しいかぎりです。

## 「荒木田ヶ原」「尾久の原」は 桜草やすみれ草見物の行楽地

右の浮世絵は江戸時代の尾久の原の風景で、桜草を見に来た見物客ですが、荒木田ヶ原も春の時期は大勢の花見客で賑わっていた場所です。

